

むら塾だよりはむら塾と地域との連携活動の一環で作成しております。

# むら塾 だより

2019年秋号  
編集者 尾嶋陸斗  
2019年10月10日発行

## 代表あいさつ

10月に入り徐々に秋らしくなってきましたが、皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。代表を務めております東京大学教養学部後期課程3年の平松です。

この9月で富津市での連携活動を始めて丸4年となります。いままで支えてくださった皆様に改めて感謝申し上げますとともに、今後ともご指導・ご鞭撻のほどよろしく願います。

さて、現在むら塾のメンバーは90名を越え、富津での活動をさらに充実させるとともに、活動の範囲も広がります。今回からは6月より連携活動を始めております福島県飯舘村や、昨年より夏の農業研修を受け入れていただいております北海道栗山町など、他の地域の皆様に向けてもこの「むら塾だより」を一部配布させていただいております。今後は「むら塾だより」を通してそれぞれの地域での活動を結び付けていくこともできるかと存じます。どうぞご期待ください。

引き続き活動の中心であります富津市は、先月の台風15号により大きな被害を受けております。一刻も早い復旧を祈りあいさつに代えさせていただきます。

(平松昂 3年)



むら塾代表  
平松 昂

## ハーブ開発について

副代表兼ハーブ開発担当をしております東京大学教養学部前期課程2年の蔡です。

ハーブ開発事業ではレモングラスとパクチーに加えて秋にカモミールとアップルミントを植え、今年度は来年度に向けて4種類で試験栽培をして参ります。11月ごろに



レモングラスとパクチーでハーブ会を開催し、利用方法等を含めて多面的に検討した上で来年度の大規模栽培に向けた選定を行いたいと考えております。予定では化粧品やお茶っ葉、香辛料等の用途を考えております。

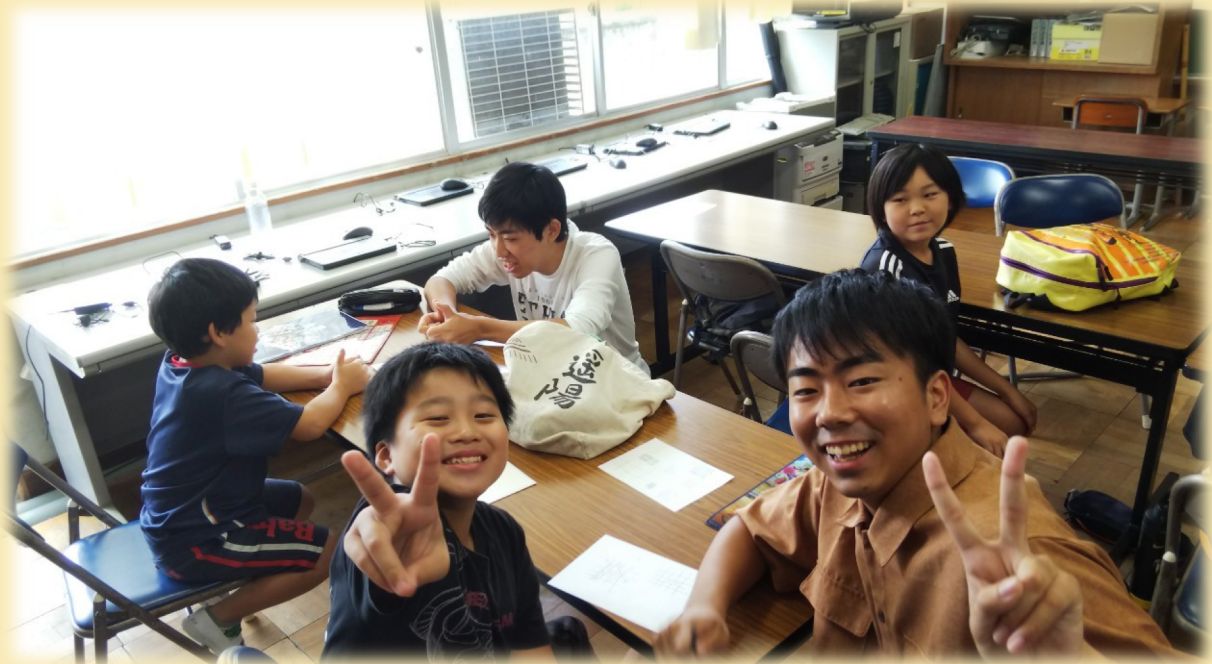
栽培等において至らない点が多々あると思いますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。(蔡毓婷 2年)

## 寺子屋の報告

平素より大変お世話になっております。東京大学2年の吉山優吾です。

本年度の寺子屋企画は、8月1日と8日に富津市役所にて、8月23日に湊小学校、8月26日に天神山小学校にてそれぞれ開催されました。市役所の寺子屋では2日間でのべ60名ほどの子どもたちが参加してくれました。富津市役所の職員の方々の様々なご支援も頂きながら、勉強熱心な子どもたちと楽しい時間を過ごさせていただきました。

また、湊小学校、天神山小学校でもそれぞれ20名弱の子どもたちが参加してくれました。湊小学校では今回が初めての開催となりましたが、職員の先生方も子どもたちも我々を快く歓迎していただき、次回以降にもつながるいい雰囲気です。



ことができました。天神山小学校では統合前最後の開催となりましたが、一部湊小学校の生徒も参加し、最後まで和やかに行うことができました。

東大生として単に勉強を教えるだけではなく、相川地区並びに富津市の子どもたちのために何か少しでも良い刺激を与える場を作ることができたらと考えております。引き続き、富津市役所や各小学校での継続した寺子屋開催を目指していきます。今後ともご指導ご鞭撻の程、宜しくお願申し上げます。(吉山優吾 2年)

## 駒場祭報告

駒場祭販売企画を担当しております。東京大学1年の下山結衣です。

東京大学の学園祭である駒場祭が、11月22日(金)から24日(日)の3日間開催されます。場所は東京大学駒場キャンパスです。

駒場祭では相川のみなさんが作った野菜や商品と、米粉を使ったパンケーキを販売する予定です。また、「ふつつん」の招待やお米のすくいどり企画も計画しています。

駒場祭をきっかけに、むら塾の活動やそれぞれの地域についてより多くの人に





興味をもってもらえると嬉しいです。

そのためにも、残りの約2ヶ月間、力を合わせて駒場祭の企画を成功させようと思っています。

今後ともよろしく願いいたします。

(下山結衣 1年)

## 稲刈り報告

稲刈り合宿を担当しました、2年の杉本です。

もう、言いたいことは一つだけです。大変でした。

一大イベント感覚で取り掛かった稲刈りでしたが、恐れていた台風や雨の影響でイベントどころの騒ぎではなく、地獄のような作業が続きました。

特に、死ぬ思いで車中泊をしたあの台風の日以降、毎日いつ終わるのが見えない状況での作業は皆辛かったと思います。忙しい中集まってくれた方々、本当にありがとうございました。おかげで、計1530kg(25俵半)収穫することができました。

お米は大事に食べましょう。(杉本実優 2年)



## 花火大会報告



お世話になっております。理科二類2年の今田隆浩です。

7月28日に富津市花火大会が行われ、むら塾として出店いたしました。昨年は台風の影響で中止となってしまったので、無事に開催され良かったです。

当日は、じゃがバターを販売し、風が強かったために蒸し器の火が消えてしまうなどのアクシデントもありましたが、訪れた多くの方々に私たちの育てたじゃがいもを食べて頂くことができ、美味しいと言ってくれる人もいて励みになりました。また、じゃがいもの品種は男爵と赤色のさやあかねを使い、紅白じゃがバターと

して販売しました。むら塾の宣伝もじゃがバターの宣伝と並行して行いましたが、むら塾の活動に興味をもちメンバーの話を聞いてくれる人もいて、嬉しかったです。

花火大会に限らず、これからも相川地区ならびに富津市のイベントに参加し、地元の方達のお手伝いをしていきたいと考えております。

今後とも何卒よろしく願い申し上げます。(今田隆浩 2年)



# 飯舘村プロジェクト活動報告

お世話になっております。副代表兼飯舘村プロジェクト担当をしております文学部社会学専修課程3年の藤田太郎です。

飯舘村プロジェクトの進捗と今後の活動について報告させていただきます。

6月のプロジェクト発足後2回の現地訪問を経て、比曽地区で花卉栽培を行う菅野啓一氏(飯舘村農業委員会会長)の協力のもと、遊休農地での蕎麦栽培を実施することになりました。蕎麦を選んだ理



由としては、肥料をやる必要がなく手入れが簡単なため広範囲での作付けが可能なこと、収穫後の保存やブランド化が容易であることが挙げられます。

8月1~2日には蕎麦植え合宿を実施し、農業委員会協力のもとで電気柵の設置や蕎麦の種まき、トラクターでの耕運体験を実施しました。当日は広報いいたての取材を受け、活動内容は広報いいたて9月号に掲載されております。

現在は月に1度から2度の頻度で現地を訪問し、蕎麦畑の草刈りや台風対策として電気柵の拡張などを行なっております。台風15号の影響で一時茎がなぎ倒されてしまいましたが、また元気に伸び始めています。

蕎麦の収穫は10月中旬を予定しており、収穫後は11月に実施予定の「飯舘村農業委員会×東大むら塾のワークショップ」の際に蕎麦打ちを実施する予定です。ワークショップでは飯舘村で活動している明治大学・東大むら塾の活動発表と地域住民との交流を予定しております。

飯舘村では農作物は3年連続放射線検査に合格しないと出荷できないため、今年度の蕎麦については出荷は出来ません。そのため今年度はワークショップでの試食会とそば殻を利用した枕作りなど、再来年度からの商業用出荷に向けて準備を進めていく予定です。

今後のビジョンについては、

①若者の視点から村の未来を考える ②継続的に関わる ③村の魅力を見つける、作る,伝えることを通じて、村の中の人,村の外の人,村を離れている人を繋げるの三つに決定しました。

多様な関心分野を持つ学生がいるむら塾の強みを生かして、蕎麦の収穫以降は地域住民へのヒアリングや地区ごとのマスタープラン作りに取り組んでいく予定です。また現在は飯舘村プロジェクトメンバーのみが訪問を続けている状況ですが、こちらについても今後むら塾生全体が飯舘村に関われるように議論を進めております。

飯舘村,相川地区それぞれで得た知見を生かし、両地域の発展に寄与して行きたいと考えております。今後とも皆様のご指導ご鞭撻をよろしくお願い致します。

(藤田太郎 3年)



## ふるさと納税について

ふるさと納税を担当させていただきます東京大学1年の碓井です。

むら塾では2017年度以降、富津市企画課のご協力のもと、生産しているお米をふるさと納税に出品しております。ふるさと納税プロジェクトの活動は主に2つに分けられます。1つ目に収穫したお米をふるさと納税として出品することです。(収穫したお米を精米して倉庫に保管します。サイトで注文を受け次第袋詰めして、発送します。)

2つ目に、11月16.17日に横浜パシフィコで開催されるふるさとチョイスのイベントに参加することです。こちらでは、お米のすくいどりをを行う予定です。

今後もむら塾のふるさと納税をさらに充実させるべく、精一杯取り組んでまいります。至らない点も多いと思いますが、今後ともよろしく申し上げます。

(碓井善智 1年)



## 栗山町農業研修報告

栗山町農業研修を担当していました、教養学部2年の中西優です。

8月30日から9月3日までの5日間、北海道の栗山町にて農業研修を行いました。栗山町での農業研修は今年で2回目で、総勢26名のむら塾メンバーが参加しました。

栗山町では6つの農家さんの下で農業研修を行い、長ネギの収穫や皮むき、イチゴの収穫、にんにくの皮むきなど、様々な作業を体験させていただきました。その他にも、町内のJAや「東洋の小麦王」とも呼ばれる勝部農場農場を見学し、北海道の大規模農業を余すところなく体感しました。農家さんとのバーベキューも2回開催され、農業のリアルな話を聞く、また親交を深めるいい機会になったと思います。

同じ中山間地帯でありながらも大きく異なる相川と栗山の農業の違いを認識し、より広い視野で農業を見つめなおすきっかけになりました。来年度以降も継続して行う予定です。(中西優 2年)



<https://www.facebook.com/todaimurajuku/>



<https://www.instagram.com/today.murajuku/>

↑以上のSNSでもむら塾の活動を発信しております。



# アワード企画のご報告

アワード企画責任者を務めております、東京大学法学部3年の佐野です。

今年3月より始動した本企画も、いよいよ秋の参加者募集開始まで残すところわずかとなりました。ひとえに皆様のご支援とご協力のおかげでございます。心より感謝申し上げます。

前回6月のご報告以来、本企画は開催に向けて様々に進展致しました。まず、企画名を「むらおこしコンテストinふつつ2020」に、そ

してキャッチコピーを「日本一ミクロな地方創生」に決定致しました。各地区を単位としたチーム編成と住民目線に立ったプランニングを両立させる、ミクロできめ細やかな地方創生を目指し、今後とも取り組んでまいります。

次に、本企画のロゴが決定致しました。天羽の位置、天羽5地区の多様性を表現したデザインになっております。今後は、このロゴを活用し広報活動を行っていくので、是非よろしくお願い致します。

また、開催日時が【2020年2月8 - 11日】に決定しました。最終日の2月11日には、企画の集大成となるプラン最終発表会が開かれます。学生たちが4日間磨きぬいたプランを是非御覧ください。皆様の御参加を心よりお待ちしております。

最後に、今月3日からいよいよ参加者募集を開始しました。FacebookやTwitter、公式HPなどで随時情報を発信していくので、お見かけの際には是非シェアして頂けると有り難く存じます。

今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。(佐野達哉 3年)



アワード開催にあたって必要な資金を集めるため、クラウドファンディングに挑戦します！

インターネットのサイト(サイト名:READY FOR)にプロジェクトを掲載し、今までむら塾に関わりのあった方、なかった方も含めて広く支援を募ります。目標金額は40万円、集まった支援金はアワードに参加する全国の学生の負担軽減に充てさせていただきます。40万円という目標は簡単なものではありませんが、アワード成功には欠かせない資金です。

つきましては、一人でも多くの方からのご支援が必要です。クラウドファンディングのページには私達の思いを綴ったストーリーを掲載していますので、以下のURLからぜひ一読ください。たくさんの支援をお待ちしております！(山本実南 2年)

URL:<https://readyfor.jp/projects/todaimurajuku>